

○事業所名	放課後等デイサービス ライトハウス		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 7日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和6年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障がい特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮。	・助成金を使って、福祉車両を購入したり、駐車場を全面アスファルト舗装にするなど、バリアフリー化を行っている。	軽微な段差が多いため、段差の解消を検討していく。
2	子どものことを十分に理解し、子ども特性等に応じた専門性のある支援の提供。	・日々の記録での申し送り ・定例会議で児童の様子について共有	・研修会等に参加し、特性への理解を深める。
3	活動プログラムを固定化していない。	・児童主体で活動内容を考える機会の提供 ・長期休みは外出活動や調理、製作を活動に取り入れている	・毎月固定で行っている活動(避難訓練、買い物ごっこ、防災散歩)の活動内容についての検討が必要。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がない。	・放課後児童クラブや児童館とのつながりができていない。 ・地域の小学校の地区子ども会などとのつながりが少ないため、イベントの周知をしていない。	・職員が施設見学等を通じ、放課後児童クラブや児童館とのつながりを作る。 ・イベントを周知する方法の検討。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催等により、保護者同士の交流の機会や、きょうだい向けのイベントの開催等によりきょうだい同士の交流の機会の提供。	・平日は各々利用時間にズレがあったり、長期休みは朝～夕方まで利用児童数が多く、きょうだい向けのイベントの開催は困難。	・令和6年度に保護者会を1回開催したが、事前アンケートにも『保護者同士の集まりが必要』『必要ではない』と結果が分かれたため参加人数が少なかった。保護者会という名前で参加を悩んだという保護者もいたため、会の名前と集まりの内容については今後検討が必要。
3	地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営ができていない。	・事業所がある地域住民との関わりがない。	・地域住民の方と交流できるような活動の検討。